



個性豊かな造形30点

県立大生が展示会



県立大生が手がけたテキスタイルアートなどが並ぶ展示会

の造形作品の展示会「&展」が19日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ギャラリーで始まった。24日まで。

工芸工業デザイン学科8人が約30点を出品。窓から見える桜並木や夜空にきらめく天の川を表したタペストリー、スニーカーがモチーフのドレス、持ち手が魚の形の土鍋など個性豊かな作品が並ぶ。

「パーツを組み替えて光の強弱が調整できるライト、植物化石を題材にした皿やマグカップ、巨大なヘビやタコのオブジェもそろそろ。」

「楽しんでほしい」と話している。午前10時〜午後5時（最終日は同4時まで）。入場無料。ワークショップ（各日先着順、無料）もある。

ピザの形のタペスト

（松尾紗英）

県立大イン学部3年生有志（総社市窪）によるテキスタイルアートやセラミック

のデザインアートやセラミック

さんデジに
動画



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。